

第Ⅱ編 景観の現況

第2章 津市の景観特性

本市の景観は、山や海、まちなみなど日常的に目に見えるものや、祭りやイベント、紅葉、花火大会など特定の時期や時間を楽しむもの、先人達により培われてきた伝統文化、行事の中で体感できるものなど、様々な景観があります。これらの景観を、その性質により分類し、これを景観特性として整理します。

山と海に囲まれた豊かな自然景観

布引山地などの山並みや
里山などの緑の景観

農地や農村集落などの
農の景観

海や河川、ダム湖などの
水辺の景観

歴史文化薫る景観

街道沿いの歴史的まちなみや城
館跡・城跡などの歴史の景観

祭りや季節行事などの
祭事・伝統行事の景観

市街地を構成する様々な景観

駅前や商店街などの
商業業務地の景観

従来からの住宅地や住宅
団地などの住宅地の景観

教育や市民・文化活動、研
究施設などの文教地の景観

幹線道路沿いなどの商業施設
などが建ち並ぶ沿道の景観

臨海部などの工場集積地や
工業団地などの工業地の景観

市民の記憶に残る景観

余暇で目にする
感動・安らぎの景観

校歌や文学・伝承などで
語り継がれる景観

市民アンケートから
分かる記憶の中の景観

1. 山と海に囲まれた豊かな自然景観

本市は、西を布引山地、南西を高見山地、東を白砂青松の海岸などに囲まれ、大きな河川がこれらの山地を源として流れ、平野を形成しています。このような自然の特長をいかして林業や稲作などが営まれ、市内各所で豊かな自然景観が見られます。

(1) 緑の景観

- ・西部から南部にかけては、布引山地や高見山地の山地が連なり、新緑や色鮮やかな紅葉などの景観が楽しめます。特に経ヶ峰や大洞山などは、各地におけるランドマークとなっています。
- ・布引山地の尾根沿い美杉地域は、室生赤目青山国定公園や赤目一志峡県立自然公園に指定されており、一部は、特別地域にも指定されている景勝地となっています。
- ・山間地を通る国道163号や国道165号、国道368号、県道久居美杉線などの沿道、近鉄大阪線沿線では、四季の彩り豊かな森林景観が見られます。
- ・平野部では、布引山地などの山並みへの眺望に優れているとともに、人々の暮らしの中で培われてきた身近な里山も見られます。



青山高原



大洞山(美杉地域)

(2) 農の景観

【農地】

- ・平野部は、肥沃な土壌に恵まれ、まとまりのある農地が広がり、稲作や畑作など四季に応じて変化する農の景観が見られます。
- ・山間部は、斜面を利用した棚田や茶畑などの農業が営まれ、長い年月をかけて形成されてきた景観が見られます。



安濃川沿いの農地



八知の棚田(美杉地域)

【集落】

- ・農地の周辺には、家屋や社寺等が寄り集まる集落が古くから形成され、日本家屋の家並みや蔵、石積みなど風情ある集落の景観が見られます。
- ・山間地においては、伝統的な日本家屋や棚田、茶畑等が織りなす山里の景観が見られ、三多気地区、桂畑地区は、ともに「美しい日本のむら景観コンテスト(農林水産省)」において農林水産大臣賞を受賞しています。



三多気(美杉地域)



桂畑(美里地域)

(3) 水辺の景観

【海岸】

- ・豊津浦、阿漕浦、香良洲浦などの海岸線は、伊勢の海県立自然公園に指定されており、弓なりの白砂青松の海岸が連続しています。
- ・田中川河口付近には、マリーナ河芸が整備されており、親水公園や干潟など、自然と触れ合える海岸の景観が見られます。
- ・香良洲海岸周辺や御殿場海岸は、潮干狩りや海水浴、ヨットなどのマリンレジャーが楽しめる場所として多くの市民や来訪者に親しまれています。



阿漕浦（津地域）



香良洲浦（香良洲地域）

【河川】

- ・雲出川や志登茂川、安濃川などは、平地で大きく蛇行するなど大地に彫刻のように刻まれた河川らしい景観を形成しています。
 - ・雲出川上流では、家城ラインなど美しい渓谷や溪流の景観が見られます。
- また、河口付近では、川幅の広い雄大な水辺の景観が見られます。
- ・安濃川や志登茂川、田中川の河口付近では、干潟や芦原の景観が見られます。
 - ・雲出川沿いの亀ヶ広、大仰、安濃川沿いの河内や北神山、岩田川沿いの岩田などでは、サクラやカエデ、ヤナギなどが植樹され、川辺の景観に彩りを添えています。
 - ・ＪＲ名松線の沿線は、雲出川と並走している区間が多く、美しい渓谷や里山を縫うように流れる清流が見られ、その車窓景観の美しさは、乗客を魅了しています。
 - ・河川に架かる橋梁からは、まちなみや山並みへの眺望など開放感ある景観が楽しめます。



雲出川



亀ヶ広（白山地域）

【湖沼・ダム】

- ・市内には、農の営みとともに形成されてきた片田・野田のため池群、横山池など多くのため池が点在し、また、市街地には、野鳥の飛来が見られる岩田池などもあり、親水性のある景観として市民に親しまれています。



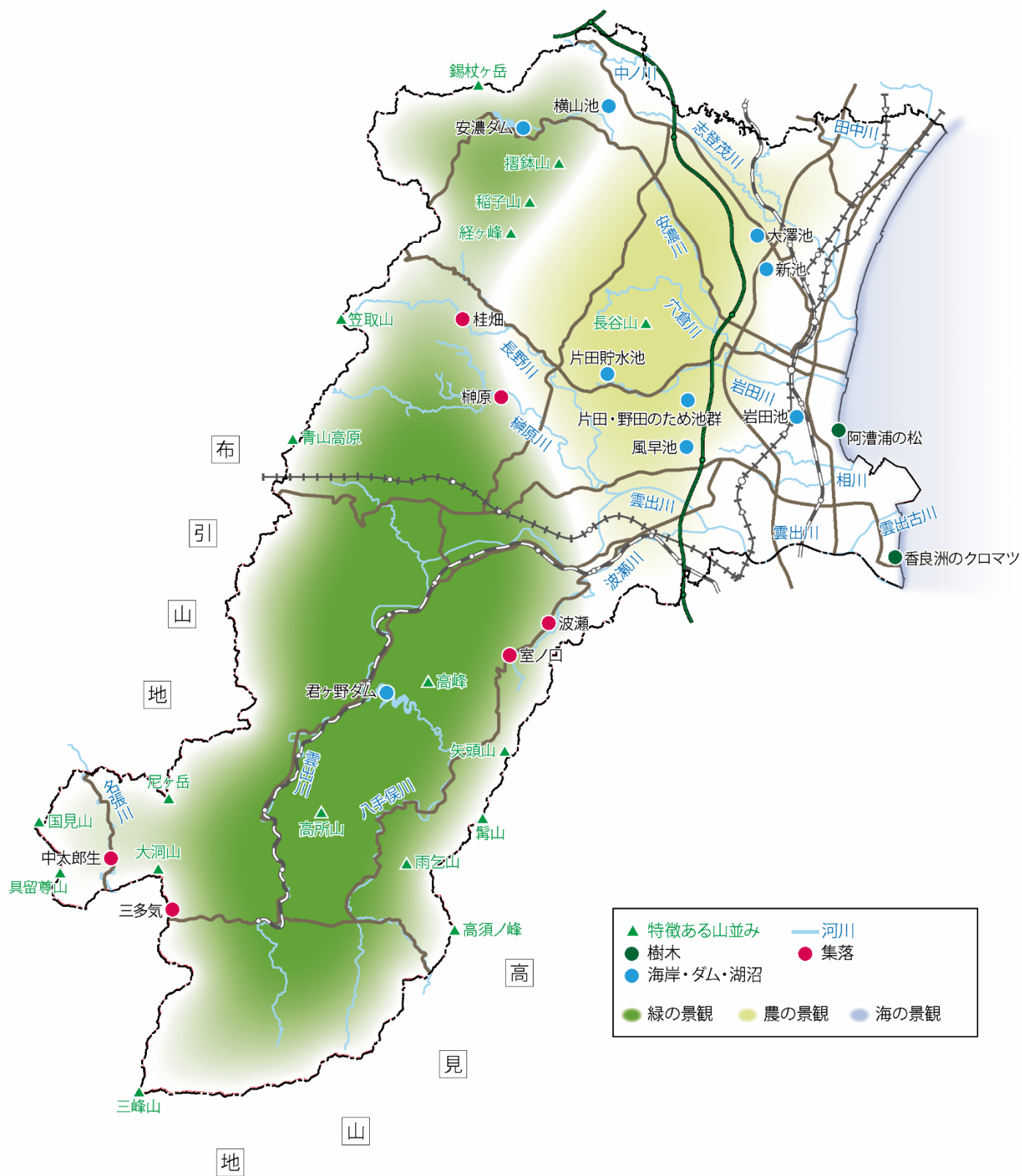
横山池（芸濃地域）



君ヶ野ダム（美杉地域）

- ・雲出川上流の君ヶ野ダムや安濃川上流の安濃ダム周辺では、サクラや新緑、紅葉などが水面に映し出され、季節毎に独特の水辺景観が見られることから、市民や来訪者に親しまれています。

図 景観特性図（山と海に囲まれた豊かな自然景観）



2. 歴史文化薫る景観

本市には、北畠氏の本拠地である多気城下や藤堂高虎が築いた津城下町があり、伊勢神宮と各地を結ぶ街道が幾重にも張り巡らされたため、街道沿いには、かつての名残をとどめる歴史的な建造物が多く残り、文化や伝統を伝承する行事などとともに、歴史文化薫る景観が見られます。

(1) 歴史の景観

【史跡等】

- ・津城跡は、公園として整備されており、堀や石垣などの歴史的な遺構が見られ、まちなかの憩いの場として市民に親しまれています。
- ・一身田町では、高田本山専修寺を中心とした寺内町が形成され、歴史的建造物やほぼ完全な形の環濠が残るなど、貴重な歴史的遺産が集積しています。
- ・多気では、国指定史跡の多気北畠氏城館跡が地区の景観を特徴づけており、盆地上の地区周辺には、かつて北畠氏の城下が広がっていたとされ、これらを取り囲む森とともに落ち着いた山里の景観が見られます。
- ・津観音は、東京・浅草観音、名古屋・大須観音とともに、日本三観音の一つと称され、五重塔などは、地域の景観を特徴づけています。



一身田寺内町(津地域)



津城跡北堀(津地域)

【まちなみ】

- ・本市には、伊勢街道や伊勢本街道、伊勢別街道、初瀬街道、伊賀街道、奈良街道など多くの街道が通り、街道沿いでは、多くの歴史的まちなみや、歴史的建造物である常夜灯や道標などが残っており、かつての名残をとどめています。
- ・伊勢本街道沿いの奥津や上多気、伊勢別街道沿いの楠原などにおいては、かつての宿場町などの名残をとどめ、切妻平入りの町屋が連たんした歴史的まちなみが見られます。
- ・街道沿いには、「谷川士清旧宅」などの国史跡や国登録有形文化財の「旧明村役場庁舎」や「油正ホール」、「角屋旅館本館」などの歴史的建造物も見られ、街道ならではの景観を印象づけています。



阿漕町津興(津地域)



油正ホール(久居地域)

(2) 祭事・伝統行事の景観

- ・市内には、各地のランドマークとなる寺院・神社、街道などにおける盆踊りや獅子舞など、先人達から継承されてきた伝統的な祭事や行事が行われ、その季節の到来に彩りを添えるとともに、市内各地の多様な文化を反映した賑わいの景観を見せています。



津まつり(津地域)



みたま祭(津地域)

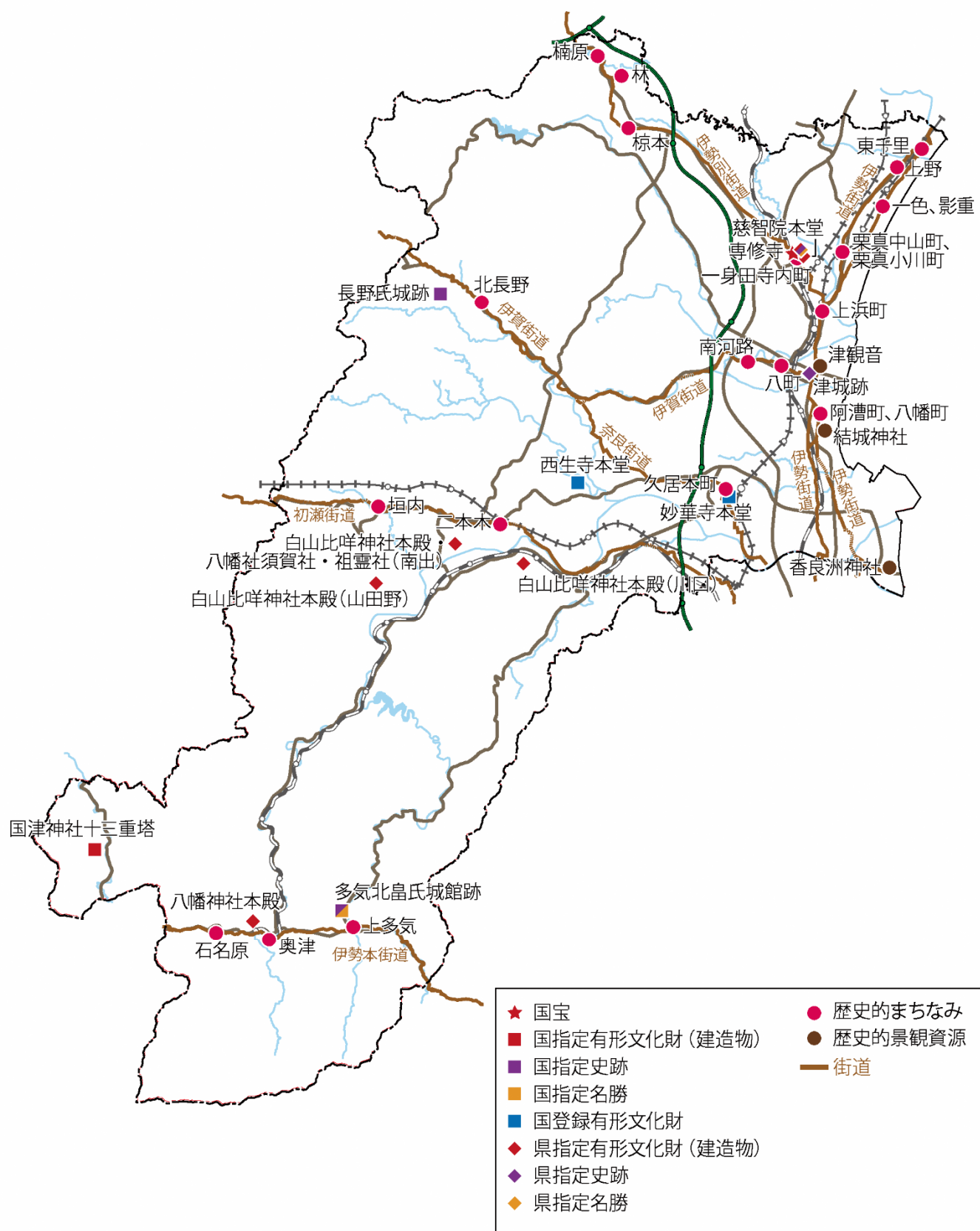
- ・津藩の第二代藩主藤堂高次が祭りを奨励したことから始まる津八幡宮の祭礼を起源とする「津まつり」は、本市を代表する江戸時代から続く祭りであり、朝鮮通信使の行列を模したとされる「唐人踊り」なども行われ、多くの市民や来訪者に親しまれています。
- ・夏季に護国神社で行われているみたま祭は、多くの提灯に火がともされ印象的な景観が見られます。
- ・無形民俗文化財に指定されているかんこ踊りや獅子舞など、古くから伝わる伝統行事が市内各地で行われており、地域の営みの中で育まれています。
- ・香良洲神社では、20年ごとに営まれる造営の御用材を運ぶ、お木曳行事が今も続いており、造営技術とともに神社が更新される文化が継承されています。

MEMO ランドマークとは・・・

地域のまちなみの目印になっている建造物や樹木、遠望した際の象徴的な山頂や橋、塔など、地域の景観を特徴づけるもののことをいいます。

本市においては、自然景観では、経ヶ峰や大洞山など、歴史的景観では、高田本山専修寺など、主要な市街地では、アスト津やポルタひさいなどがこれに当たります。

図 景観特性図（歴史文化薫る景観）



3. 市街地を構成する様々な景観

本市は、約 29 万人の市民が暮らす県庁所在地として商業業務施設や官公庁、文化施設等が集積し、幹線道路沿いや大規模住宅団地では、都市基盤の整った住宅地が見られ、丘陵地や海岸部などには、工業地が分布するなど、様々な景観が見られます。

(1) 商業業務地の景観

- ・丸之内周辺には、商業業務施設や官公庁が集積し、中高層のビルが中心となった都市空間が形成されています。
- ・津駅や久居駅の周辺では、それぞれの再開発ビルがランドマークとなっており、久居駅東口には、公園が整備され潤いのある景観が形成されています。
- ・中部国際空港への海上アクセス港である津なぎさまちは、本市の海の玄関口として整備され、高速船が出入港する姿が港を特徴づけています。



丸之内周辺 (津地域)



津駅周辺 (津地域)

(2) 住宅地の景観

- ・丘陵地などに計画的に開発された住宅団地などでは、整った道路や街路樹などによる、潤いのある戸建ての低層住宅地の景観が見られます。
- ・豊が丘や緑の街、片田団地などでは、快適な住環境の保全と創出を図るため、建築物等の用途や敷地面積、高さ、形態意匠等の制限を定めた地区計画制度が運用され、潤いと統一感ある景観が見られます。
- ・杜の街や夢が丘などでは、自然エネルギーの活用や環境に配慮した緑化、既存の自然の活用など、環境との共生に配慮した地区独自の考え方や協定などに基づく景観形成に取り組んでおり、緑豊かな景観が見られます。



緑の街 (津地域)



杜の街 (河芸地域)

(3) 文教地の景観

- ・教育施設や文化施設が多く集まる文教地では、豊かな緑や潤いと落ち着きある景観が見られます。特に市道津駅見当山線周辺などでは、沿道の緑化や風致地区の指定、屋外広告物の規制などにより、落ち着いた景観が形成されています。



三重大学（津地域）



市道津駅見当山線（津地域）

- ・三重県総合文化センターの周辺には、商業施設や中高層住宅が計画的に並び、統一感あるストリートファニチャーや美装化された歩道などによって文教的な景観が形成されています。
- ・国道23号の栗真町屋町周辺には、三重大学が位置し、大学内には、附属病院をはじめ様々な研究施設や高度な教育機能を有する施設が集積し、緑豊かな潤いある空間が広がります。

(4) 沿道の景観

- ・国道23号や国道163号、フェニックス通りなどでは、電線類が地中化され、連続した街路樹により整った都市空間が形成されています。



フェニックス通り（津地域）



国道 23 号藤方周辺（津地域）

- ・フェニックス通りでは、本市の大動脈である国道23号と津なぎさまちを結ぶシンボルロードとして、印象的なフェニックスの並木や美装化された歩道などにより、本市を代表する潤いある沿道景観が形成されています。
- ・国道23号、国道165号、県道津関線などの郊外の沿道では、大規模集客施設が立地するとともに、ロードサイドショップが建ち並ぶ沿道景観が見られます。

(5) 工業地の景観

- ・中勢北部サイエンスシティや安濃工業団地、片田工業団地など、工業団地の多くは、丘陵地に位置し、周囲を緑に囲まれた落ち着いた工業地の景観が見られます。



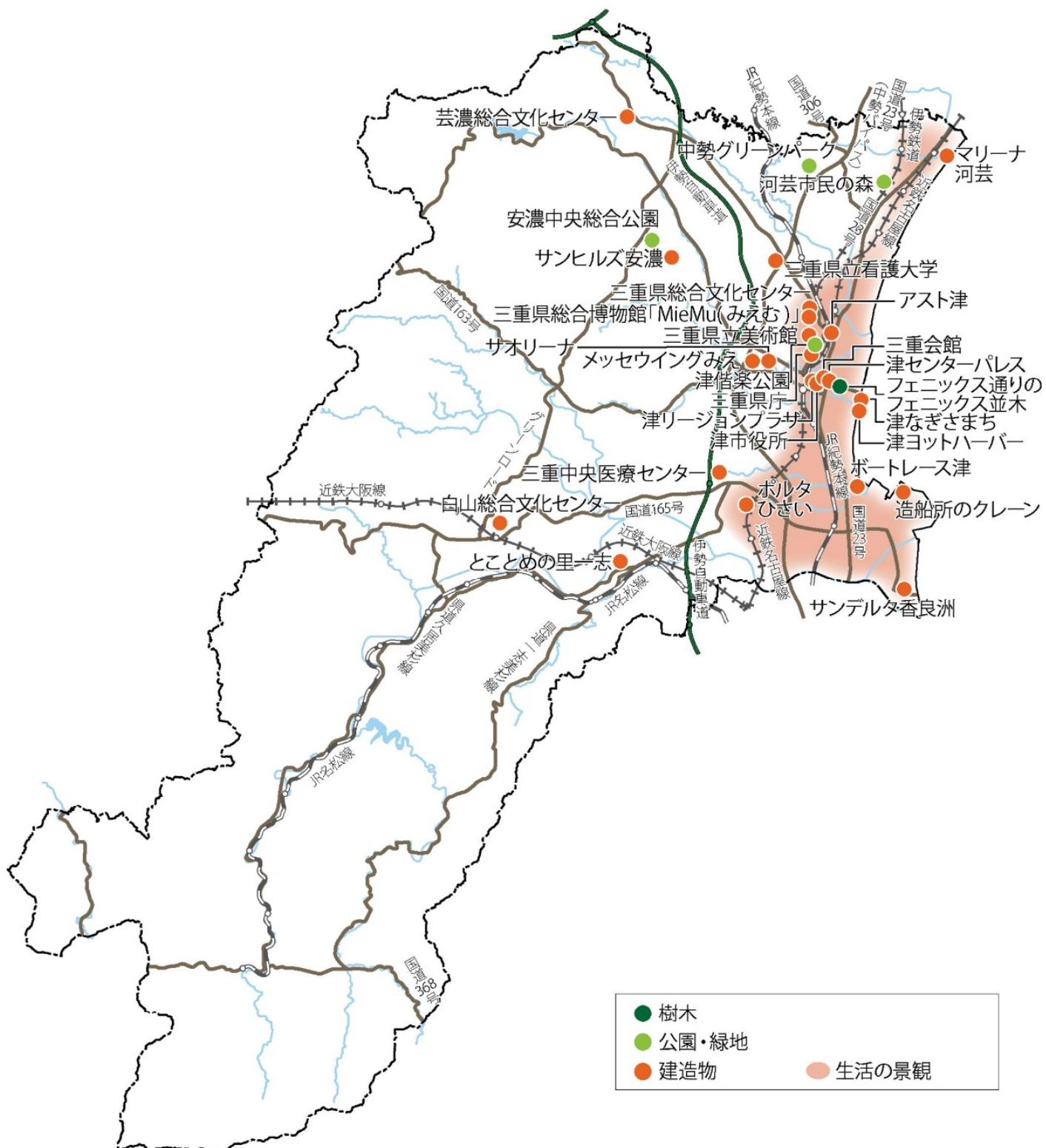
片田工業団地（津地域）



雲出鋼管町（津地域）

- ・雲出鋼管町や香良洲地域などの海岸部では、規模の大きな工場や倉庫などが立地する臨海工業の景観が見られます。特に雲出鋼管町における造船所のクレーンは、市内各所から望むことができるため、本市のランドマークの一つとなっています。
- ・海岸沿いや漁港の周辺などには、水産加工業をはじめとした工場や倉庫が建ち並んでいます。

図 景観特性図（市街地を構成する様々な景観）



4. 市民の記憶に残る景観

実際に目に見える景観だけではなく、市民の心や記憶に残っている景観もたくさんあります。各地で行われるイベントや余暇、校歌や市民アンケートなどに見られる景観などは、各地域を特徴づけ、市民等に親しまれている景観といえます。

(1) 感動・安らぎの景観

【余暇】

- ・白砂青松の海岸では、春から夏にかけて、潮干狩りや海水浴客で賑わう景観が見られます。また、マリンレジャーも盛んで、津ヨットハーバーやマリーナ河芸などでは、ヨットなどの帆船が海辺の景観に彩りを添えています。
- ・日本三名泉の一つである榊原温泉は、三重県を代表する温泉保養地で、広がりある農地や里山を背景とした癒しを感じる景観は、多くの来訪者に親しまれています。
- ・安濃中央総合公園やリバーパーク真見など、自然と身近に触れあえる野外活動の場や、経ヶ峰のハイキングコースや錫杖湖など、美しい自然を背景とした身近な余暇地も見られます。
- ・街道の佇まいを残す奥津では、地元有志の方による手づくりの暖簾により歴史的風情を表現し、街道を散策する人々の目を楽しませています。



マリンレジャー



ハイキング

【イベント】

- ・各所において市民主体のイベント等が行われ、多くの市民や来訪者に親しまれています。これらは、地域の活力や賑わい創出につながっているとともに、各地の景観を背景に行われるため、イベントと景観が相乗効果を生み、地域性を創出しています。
- ・毎年10月に行われる津まつりは、会場が大門地区を中心に津駅前、津新町通りにも広がり、大きな賑わいを見せています。
- ・津花火大会では、白砂青松の海岸線に多くの市民や来訪者が集まり、打ち上がる花火が水面へ映り込み、夏の風物詩として親しまれています。
- ・春には、各所で花の見ごろを迎え、サクラやツツジで有名な津偕楽公園春まつり、結城神社のしだれ梅まつりなどが、多くの来訪者で賑わいます。



津まつり(津地域)

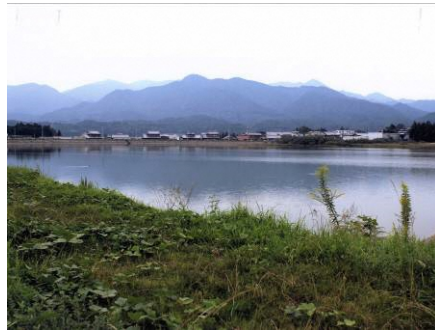


津花火大会(津地域)

(2) 語り継がれる景観

【校歌】

- ・校歌は、地域のランドマークを詠み込んでいるものが多く、思い出深い少年時代の記憶とともに、その校歌に登場する景観も市民の心に刻まれています。
- ・安濃平野にある小中学校を中心に「経ヶ峰」が多く詠み込まれており、地域を象徴する山として捉えられていることがわかります。
- ・内陸部の海が見えない学校の校歌においても、海が詠み込まれている場合が多く、本市における海の存在は、市の象徴として捉えられていることがわかります。
- ・河川周辺の小中学校では、河川が詠まれ、地域特有の植生として、海岸の「マツ」や森林の「スギ」、名所などの「サクラ」、平野の「田」や「稲」などが詠み込まれている場合もあり、地域の個性が目に見えてきます。



経ヶ峰への眺望



阿漕浦（津地域）

【文学】

- ・文学の作中などに、津市の美しい景観が登場する場面もあり、著者や読者の心に息づく景観といえます。
- ・阿漕平治の伝説にまつわる阿漕塚の句碑には、「月の夜の何を阿古木に鳴く千鳥（松尾芭蕉）」と刻まれています。
- ・「伽羅の香（宮尾登美子著）」では、北畠氏城下伊勢本街道にかけて、谷間から風景が広がる様子を「多気村は雲幅が広い」と記され、旅籠屋も多く空が広がる様子が記されています。
- ・「鹿の都に（高井有一著）」や「尼の像（丹羽文雄著）」には、一身田寺内町の千本格子の窓を持つ町屋や仏具仏壇屋の並ぶ通り、また高田本山専修寺などの様子が記されています。
- ・「故郷（中谷孝雄著）」では、津のまちや阿漕浦から眺める造船所のタンカーの様子、谷川士清旧宅への移動途中に立ち寄った谷川神社社殿背後にあるツバキの巨木と見事な花の様子など、昭和47年の津のまちの見物記が記されています。



阿漕塚（津地域）



谷川士清旧宅（津地域）

【伝承・地誌】

- ・伝承や地誌の中に、地名の由来となった特徴的な景観や往時の様子を紀行文として記しているものも見られ、人々により語り継がれてきた景観といえます。



棕本の大ムク(芸濃地域)

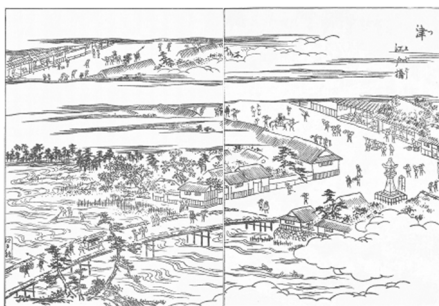


室ノ口(一志地域)

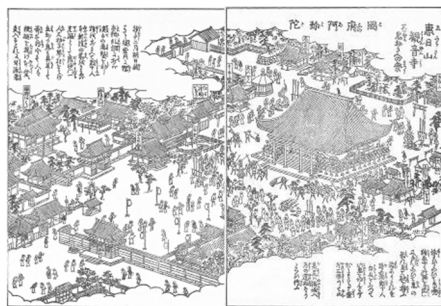
- ・榑原温泉は、清少納言による「枕草子」の中で「七久利のゆ」と記され、その後室町時代に「七栗の湯」として記された日本古来の温泉としても有名です。
- ・地域の景観を特徴づける資源が、地名の由来になっている場合も多く、棕本の大ムクは、棕本の名前の由来といわれています。また、「波瀬の伝説」では、矢下や波瀬、矢頭山、室ノ口の名前の由来が記されています。
- ・明治21年の「矢野村地誌」には、香良洲社地及び参道に数千の桜が並立している様子が記され、花見の頃に多くの来訪者が宴に集まる様子も伺えます。
- ・明応震災以前の古記には、阿漕浦の松原、海岸一帯の水田などが風光明媚な様子を、名勝として記されているものが多く見られます。

【伊勢参宮名所図会】

- ・伊勢参宮名所図会には、往時の自然やまちなみ、賑わいの雰囲気が描かれています。
- ・「津 江戸橋」には、江戸橋を渡り、津を訪れる人々の賑わいの様子が描かれており、図会の常夜灯は、現在も残り、往時を偲ぶことができます。
- ・「恵日山観音寺」には、現在も行われている「鬼おさへの祭（鬼押え節分会）」が多くの来訪者で賑わっている様子が描かれており、津観音は、当時から本市の名所であったことが伺えます。
- ・「阿漕浦」や「香良洲」には、本市の自然景観の特徴でもある白砂青松の美しい海岸線が描かれています。



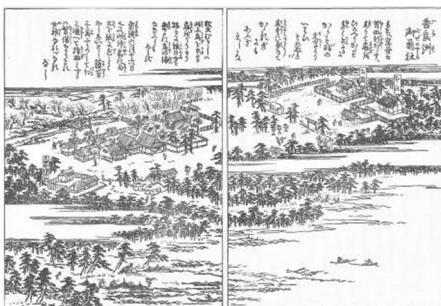
伊勢参宮名所図会「津 江戸橋」



伊勢参宮名所図会「恵日山観音寺」
鬼おさへの祭 国府弥陀



伊勢参宮名所図会「阿漕浦」



伊勢参宮名所図会「香良洲」御前社

(3) 記憶の中の景観

- ・ 元気な景観発見事業（平成19年度）における市民アンケートから分かる、本市の景観に対する市民の想いは、概ね次のとおり整理できます。

◆ 自然環境へ高い関心

市内の興味ある景観については、「自然景観」が上位となり、自然景観に対して関心が高いことが分かります。これは、本市の美しい緑や海などの自然景観を、市民が誇りに感じていることの表れといえます。

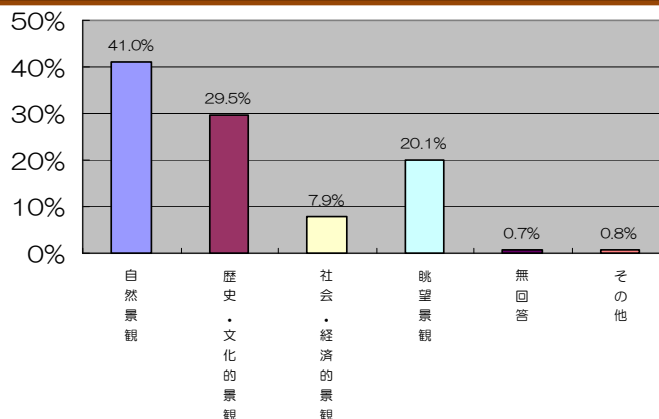
◆ 歴史的まちなみや公共空間の緑の重要性

重点を置いてまちづくりをする分野については、「寺社や街道、文化財などの歴史的まちなみ」、「公園や街路樹などの公共空間の緑」が上位となり、歴史的景観の保全や道路・公園などへの緑化推進については、良好な景観の形成への取組の目標として重要であるという認識が伺えます。

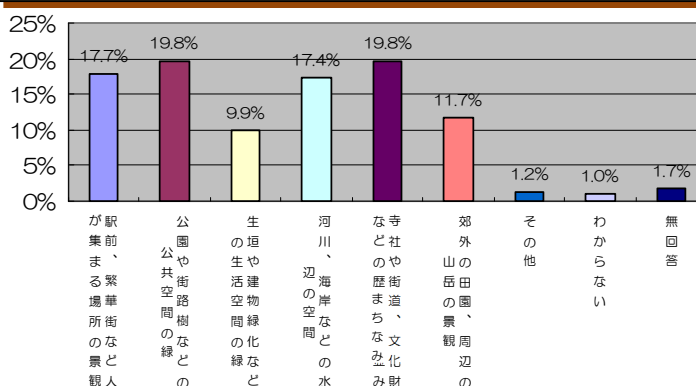
◆ 景観への高い関心

居住地周辺の景観形成に関して、「もっと良くしたい」とする回答が過半数を大きく超える中、「あなたの好きな景観」に関する自由記述結果では、市内全域に関する多くの景観資源が回答されています。そして、回答のあった景観資源は、津城跡、青山高原、経ヶ峰、津なぎさまち、津偕楽公園、阿漕浦海岸など、本市を代表する景観資源が大半であることから、地域の景観や地域の景観を特徴づける景観資源は、市民の心に息づいていることがわかります。

興味ある景観



良好な景観形成に向けた重要な分野



居住地周辺の景観形成

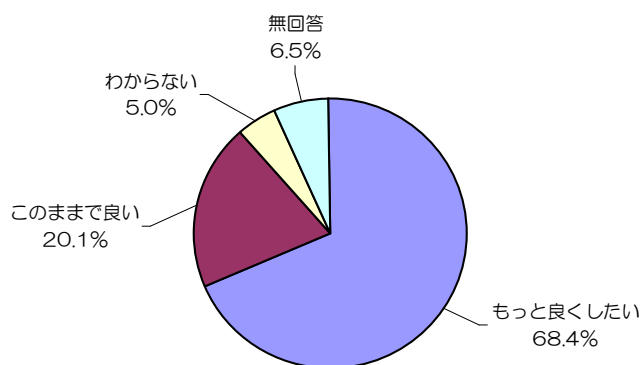


図 景観特性図（市民の記憶に残る景観）

